

『学校及び関係機関と連携した図書館活動』

始良市立中央図書館 図書館事務局 図書館係
主事 内村 亮勇

1. はじめに

始良市立中央図書館は、平成9年3月に始良町立図書館として開館し、平成22年3月の合併により現在の館名に変更した。今年で15年目を迎え、蔵書冊数約17万5千冊（令和6年4月現在）を所蔵している。今回は学校及び関係機関と連携した図書館活動について紹介する。

2. 取組について

(1) 図書館ふれあい講座

市民の皆様へ、自ら学ぶ機会、自己啓発の場を提供しその後の読書活動、生きがいにつながることを目的に年に3回開催している。講師は始良市と地域連携協定を結んでいる企業や教育委員会に登録のある講師へ依頼し、今年度は資産形成講座や断捨離セミナー、手品講座等、幅広い年齢層をターゲットに実施した。



【断捨離セミナー】

(2) 夏休み図書館講座

始良市内の小学生を対象に、夏休みの課題や自由研究に役立つ講座を実施し、学習機会の提供及び図書館利用の推進を図ることを目的に講座を実施している。講師は教育委員会の学校教育課指導主事の先生や社会教育課文化財係の職員に協力をもらい、今年度は工作教室・理科教室・読書感想文教室を開催した。



【夏休み図書館講座理科教室】

(3) 夏のおはなし会

子どもの読書への興味・関心を高め、読書啓発・推進を図り、改めて読書の楽しさや「読み聞かせ」の大切さを感じてもらう機会とすることを目的に開催している。今年度は昨年度に引き続き、「夏の夜のこわ〜いおはなし会」というテーマで、視聴覚室において大型スクリーンへ投影させた怖い絵本の読み聞かせやクイズなどを行い、おはなし会終了後には館内でお化け屋敷を開催した。受付開始後、数時間で120席が満席になるほどの人気企画である。



【夏のおはなし会〜お化け屋敷〜】

(4) 図書館司書体験

図書館機能を理解し、図書館利用意欲の向上、読書活動の推進を図るために市内の小学校5・6年生を対象に「図書館司書体験」を実施し、小学生が本や図書館に親しむ機会を提供している。各学校へ案内を送付し、今年度もたくさんの申込みがあった。



【司書体験の様子】

(5) 子ども読書活動推進事業「ものがたりレシピをいただきます」

小・中学校や給食センターと連携し、絵本の物語に出てくるメニューや食べ物を給食で取り入れ、そのテーマで「本の紹介」や「読み聞かせ」を行うことで、食育をはじめ、子どもたちに新たな本との出会いと読書（本）は身近で楽しいものと感じる機会を提供している。今年は小・中学校計22回の出前おはなし会を行った。



【松原なぎさ小学校】

(6) 図書館フェスティバル

子どもから大人まで楽しめる図書館のイベントとしてビブリオバトルやクイズラリー、製作活動等様々な催しを毎年開催している。イベントを運営する上で、地域の農産加工センターやキッチンカー、社会福祉協議会、ボランティアグループによる読み聞かせ会等、様々な協力・連携をしながら開催している。



【図書館フェスティバル】

(7) 啓発広報事業

始良市立図書館では毎月、図書館だより・映画だよりを発行し、各季節（年4回）には「図書館こどもだより」「YA（ヤングアダルト）だより」と計4種類のお便りを発行している。お便りは各学校への配布、始良市と地域貢献協定を結んでいるイオンタウン始良に図書館の広報ブースを設けてもらい、ポスターの掲示やチラシの配布を行っている。



【4種類の図書館だより】

3. おわりに

始良市立図書館では様々なイベントを開催する上で、たくさんの関係機関と連携し、協力をもらいながら運営している。今後も、学校や地域との連携を強化し、読書活動の推進・啓発を図り、意図的・積極的な各世代のニーズを踏まえた図書の収集、整備、充実に努め、市民にとって心地よい居場所としての図書館となれるよう取り組んでいきたい。